

事務事業名 敬老会運営費助成事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：1093

施策：	10	高齢者福祉の充実 ～地域包括ケアシステムの推進～	財務コード	01030102-13-00
基本事業：	01	社会参加と生きがいづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	地域活動等に参加している高齢者の割合 生きがいを持っている高齢者の割合		担当課	高齢者支援課
			担当係	高齢者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和43年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
敬老会を開催する自治会及び高齢者入所施設			筑紫野市敬老の日事業費助成金交付要綱に基づき、各自治会等で開催される敬老会に対し、7月31日時点で80歳以上の住民登録者一人当たり2,000円を各自治会等に交付し、その運営を支援するもの。 【手続き】自治会等から交付申請 交付決定 交付 敬老会実施及び実績報告書の提出 【開催状況】令和3年度実績 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、敬老会及び敬老会に代わる事業の実施は中止とする。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【開催状況】令和3年度実績 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、敬老会及び敬老会に代わる事業の実施は中止とする。						
地域コミュニティ組織や高齢者入所施設と協働し、80歳以上の高齢者の長寿を祝う敬老会を開催することで、敬老の意識と高齢者福祉への関心の向上につながっている。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標
敬老会に参加した75歳以上の高齢者の割合		%	0	0	35	25			
参加者数		人	0	0	3,150	2,000			
5. コスト									
事業費		計	千円	30,449	30	18,426	19,202		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	30,449	30	18,426	19,202				
正職員人工数		人工	0.7	0.7	0.2				
正職員人件費		千円	5,620	5,545	1,546				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	36,069	5,575	19,972	19,202			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		【状況】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、敬老会及び敬老会に代わる事業の中止を自治会等に協力依頼した。事業中止について、広報や隣組回覧等で周知した。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし	地元において地域ぐるみで開催することで、虚弱な対象者でも参加でき、かつ地域や世代間での交流ができる貴重な機会となっている。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
高齢者の長寿を祝し、高齢者福祉の向上を図るため、敬老の日事業（敬老会）の事業費の一部を支給する事業として昭和43年度から開始。当初から昭和61年度までは食料費を助成していたが、平成2年度から助成金を交付へ変更している。平成29年度からは区長業務から自治会業務へ変更となった。				備考・特記事項 or 進行管理欄					
<ul style="list-style-type: none"> ・昭和43～61年度：食料費支給 ・平成2年度から助成金交付（71歳以上一人当たり2,500円） ・平成13年度から年齢変更（75歳以上） ・平成17年度から助成額変更（2,400円） ・令和3年度から年齢・助成額変更（80歳以上2,000円） 									